

第589号（平成27年7月29日発行）

【今週号の主な内容】

■ 《今週の報道発表》

今週の報道発表はございません。

■ 《RPPC事務局からのお知らせ》

今週の事務局からのお知らせはございません。

■ 《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 特港振協議会総会を開催、港を通じて地方を活性化
2. 社整審・交政審環境部会開催、気候変動の影響や適応策を審議
3. 広島県、広島港の物流機能高度化・活性化に向け、次期港湾計画検討

=====

《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 特港振協議会総会を開催、港を通じて地方を活性化

特定地域振興重要港湾活性化協議会（略称特振港協議会、会長・金丸謙一館山市長）の平成27年度総会ならびに要望・意見交換会が7月21日、都内会場で開かれた。要望・意見交換会には特振港に指定されている全国13港の所在首長、当該の港湾管理者、ならびに特振港協議会顧問らの国会議員、国土交通省港湾局幹部が出席。特振港の首長がそれぞれの港湾に関わる動きや重点的な予算配分の重要性や施策実施を要望した。また意見交換会後の交流会には二階俊博・特振港協議会顧問（自民党総務会長）を初めとする国会議員が出席し、特振港の更なる発展や必要な予算確保に向け活動を活性化していくことを申し合わせた。

特振港は岩内港、大湊港、館山港、岩船港、福井港、沼津・松崎港、常滑港、新宮港、河下港、八幡浜港、青方港、水俣港、本部港の13港が指定されている。

【港湾空港タイムス】

2. 社整審・交政審環境部会開催、気候変動の影響や適応策を審議

国土交通省は7月22日、「社会資本整備審議会環境部会・交通政策審議会交通体系分科会環境部会」の第27回合同会議を開催した。高潮・高波、交通インフラなど国土交通分野における気候変動の影響や適応策について示した「国土交通省気候変動適応計画（案）」について審議した。同計画は今後、委員からの指摘を踏まえて修正し、政府が今夏の策定を目指している「適応計画」に反映する。

国交省適応計画では、気候変動の影響による被害を最小化する施策を的確な時期に計画的に講じる必要があるとし、従来実施している緩和策と適応策を両輪として取組みを進めるといった理念を提示。そして「不確実性を踏まえた順応的なマネジメント（PDCAサイクル）」、「ハード・ソフト両面からの総合的な対策」等といった施策推進にあたっての基本的な考え方7項目を掲げた。

【港湾空港タイムス】

3. 広島県、広島港の物流機能高度化・活性化に向け、次期港湾計画検討

広島県土木建築局港湾漁港整備課は今年度、広島港における物流機能の高度化・地域活性化に向け、民間事業者の新たな設備投資や工場建設計画を踏まえた港湾施設配置など基盤整備に関する検討を進める。貨物需要等の分析を行い、必要となる施設等を明らかにするとともに、整備のタイミングを逸することがないように次期港湾計画への位置付け等も視野に取組む。

広島港は海田地区、出島地区のコンテナターミナルや宇品・仁保地区、五日市地区での完成自動車の取扱など中国地方経済を支える国際拠点港湾としての役割を担っている。取扱貨物量は引き続き増加傾向にあり、民間事業者による新たな設備投資や工場の建設計画等、県がこれまで実施したヒアリングでは、用地不足や機能強化を求める意見が出ている。

【港湾空港タイムス】

#####

発行者：RPPC 広報部会

部会長：徳田 英司 新日鐵住金（株）

部会員：山崎 和宣 五洋建設（株）

木村 竜也 東京都

梅木 重光 （株）酒田港リサイクル産業センター

紫牟田 和隆 光和精鉱（株）

新谷 聡 りんかい日産建設（株）

リサイクルポート推進協議会事務局 一般財団法人みなと総合研究財団（内）

担当：本野、井手、榎並 URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

※会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

※メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

※メルマガ配信先に変更がある場合は事務局までご連絡下さい。

#####